

**観光庁「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」に、  
鳥羽市の地域計画が採択されました。**

● 概要： 観光庁令和5年度事業「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」の地域公募に申請し、令和5年5月30日に、当市が策定した地域計画が採択されたので、お知らせします。

この事業は、宿泊施設の高付加価値化改修、観光施設等の改修、廃屋撤去等の取組を国が支援し、地域・産業の「稼ぐ力」の回復・強化が図られるものです。

今回の採択を受けて、市内の民間事業者と市、鳥羽商工会議所、鳥羽市観光協会などの関係団体が一体となって、計画に基づき、宿泊施設の高付加価値化や廃屋の撤去、観光施設の改修などに取り組みます。

● 採択を受けた計画の概要

○計画地域 鳥羽市

○計画概要 国内外からの観光客が、伊勢志摩国立公園の自然環境との共生を図り、食、体験、学びなどを目的とした長期滞在型観光の促進をするため、景観を損ねる廃屋の撤去、宿泊施設や観光施設における高付加価値化改修などを実施します。

○総事業費 4,616百万円（予定）

○参加事業者 37事業者（41施設）

● 具体的な事業内容

事業区分	事業者数	施設数	事業費（百万円）	補助申請額（百万円）
① 宿泊施設の高付加価値化改修	24	28	3,830百万円	2,136百万円
② 観光施設の改修	10	10	139百万円	69百万円
③ 廃屋の撤去	3	3	646百万円	278百万円
計	37	41	4,616百万円	2,485百万円



鳥羽市



# 鳥羽市地域計画 総括版

# 三重県鳥羽市 地域特性分析（総括版）

三重県鳥羽市（様式1）

## 鳥羽市の3つの特徴

1. 自然と共生する暮らしがあるまち
2. 漁業と観光産業のまち
3. 日本一海女の多いまち



## 鳥羽市全域MAP



## 強み (Strengths)

- 現役海女の数が日本一であり、海女文化が発達  
(現在445人：令和2年調べ) ※文化庁の日本遺産に登録
- 漁観連携が進んでいる。漁業と観光の連携推進協議会(平成26年～)を組織し、「トロさわら」のブランド化に成功するなど地域一体となった取組みができる
- 三重県内最多の宿泊施設数を誇り、多数の温泉施設を擁する
- 海にまつわる研究施設が立ち並び、学びの場が多い
- 外国籍のクルーズ船が寄港しインバウンド誘致のゲートウェイ
- リピーターが多く、何度も訪れたくなる魅力に溢れている
- 地域全体が伊勢志摩国立公園内に属し、海など自然観光資源が豊富
- 伊勢エビ、アワビ、カキ等新鮮な魚介類が豊富

## 弱み (Weaknesses)

- 宿泊施設や観光施設の老朽化や廃屋による景観の悪化
- 景観悪化による市街地の活力低下
- 日帰り・1泊のお客様が半数以上と連泊需要喚起に苦戦
- コロナ後のニューノーマルにおける顧客意向（ワーケーションや泊食分離等）に対応した施設改修の遅れ
- 新しい顧客層に向けた体験型観光プランの不足
- 海女文化、地域の歴史などを学べる場への回遊性の低さ
- インバウンド比率の低さ

## 機会 (Opportunity)

- 旅行需要に与える感染症の影響は弱まりつつある。
- 海女文化をユネスコ無形文化遺産に登録する活動など歴史文化への関心の高まり
- ワーケーション・テレワーク需要、教育旅行のSDGsを学ぶ需要の高まりなど、新しい旅行形態の増加
- Z世代、ミレニアム世代の台頭など新しい旅行者層の需要拡大
- 新しい旅行形態として泊食分離需要の高まり

## 脅威 (Threat)

- 地域間競争の激化
- 従前より続いている労働力不足がコロナにより加速（アフターコロナの増客に耐えられるか）
- 物価高騰による観光業従事者の費用増加

## 地域計画（総括版）

ビジョン・コンセプト及びターゲット	ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外からの観光客が「鳥羽うみ文化」に満足しリピーターや長期滞在客で常に賑わっている</li> <li>ワーケーションや泊食分離などの長期滞在型観光コンテンツを求めて国内外から観光客が集まっている</li> <li>海女文化や食、歴史など鳥羽の地域資源を活かした学びの機会を提供し人生を豊かにするコンテンツが創出されている</li> </ul>
	コンセプト	「食べて、学んで、遊べる鳥羽うみ文化」
	ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>リピート率の高い既存顧客の50代以上のミドル、シニア層</li> <li>Z世代、ミレニアル世代＝団体/学生/家族連れ/社会人</li> <li>とば固有の文化に興味を持つインバウンド</li> </ul>

## 課題（現状とビジョンのギャップ）

## 宿泊施設や観光施設が老朽化している

- 顧客層がミドル・シニアに偏っており新しい顧客層のニーズに応えられていない
  - 全盛期の鳥羽を知っているミドル・シニア層が来訪するが、鳥羽の魅力を知らない層が来訪していない
  - 子供を中心としたファミリー層、伸びてきているZ世代、ミレニアル層、大幅な回復が期待できるインバウンドの取り込みの準備ができていない

- 日帰り・1泊での来訪が多くを占めている
  - 長く滞在したいと思える宿となっていない
  - 観光スポットでの滞在や宿泊が短期のため、市内観光消費が伸びていない
  - 観光プランの不足が課題
  - 地域内及び伊勢志摩広域での回遊性が確保できていない

- 市街地に活力がなく、回遊性を確保できていない
  - 市街地（商店街）の老朽化（廃屋もある）が進み、まちで楽しみながら観光消費していただく環境とは言えない。観光消費を促進することが地域の活性化につながる

## 課題解決に向けた具体的施策

- 観光地としての高付加価値化を図るために、宿泊施設や観光施設などの民間保有施設の改修により新しい顧客ニーズに応える
  - ファミリー層、Z世代・ミレニアル世代・若年層の受入体制を整える
  - ワーケーション機能、泊食分離、二地域居住など様々なニーズに対応した改修を行うことで課題解決を目指し、新しい顧客層の新しい旅行形態の需要を狙う
  - 心のバリアフリー認定制度や宿泊施設の高付加価値化ガイドライン登録の施設を増やし宿泊客のニーズに応える

- 長期滞在を促す施設改修を実施すると共に、観光資源の活用と連携を進め、新しい顧客層の開拓・連泊の推進を図る
  - 漁業関係者、観光施設、海に関する研究機関と連携し教育旅行や学びに関心を持つ新しい顧客層が納得するソフトを開発することで課題解決を目指す
  - 新しい旅行形態の需要を持つZ世代/インバウンド/ファミリー等の連泊需要を狙う
  - 地域内及び伊勢志摩広域での回遊性を確保し長期滞在を促す

- 改修・廃屋撤去を推進、活気のある市街地とし鳥羽市内の回遊性を実現する
  - 令和5年度には新たな事業者も巻き込み、より地域として一体となって景観改善を行う。また、鳥羽市景観計画と連動し、景観の改修を行い課題解決を目指す
  - 宿泊客が宿泊施設から出て、まちを楽しみ/買い物をするなど回遊性創出を目指す
  - 国内外から訪れるすべての観光客の増加を狙う